浜松市防災学習センター

令和2年度 校外学習のご案内(小・中学校向け)

- 見学時間/9:30~17:00
- 休館日/月曜日、祝日 (土・日を除く)、年末年始
- 見学・講座料金/無料

展示エリア 見学定員: 各階 20 名程度

1F デジタルはまマップ・そなえミッション など

2F もしもシミュレーター・被災直後のまち・避難所ってどんなところ?



そなえミッション(AR体験)

団体人数が 20 名を超える場合、 2グループ以上に分かれてガイドを行いますので、 事前のグループ分けをお願いします。※ガイドなしの自由見学も可能です

コース (1) 展示見学のみ (約60分)

● 20 名以内の場合

所用時間	
10 分	概要説明
25 分	1F
25 分	2F

● 21 名以上の場合(各グループ 20 名程度まで)

所用時間	А	В
10 分	概要	説明
25 分	1F	2F
25 分	2F	1F

コース ② 講座 + 展示見学(約80分)

● 20 名以内の場合

所用時間	
40 分	概要説明+講座
20 分	1F
20 分	2F

団体人数が 40 名を超える場合、講座を含めたコース②をお勧めしています。

※同時に講座に参加できる人数は 40 名です。

講座プログラムは8種類からお選びいただけます。

● 21 名以上の場合(各グループ 20 名程度まで)

所用時間	Α	В	С	D
20 分	概要説明+講座		1F	2F
20 分			2F	1F
20 分	1F	2F	概要説明+講座	
20 分	2F	1F		



被災直後のまち

休憩場所のご利用について

昼食などの休憩場所として、講座室・多目的ホールを無料でご利用いただけます。(各定員:40名)

小・中学生向け学習講座プログラム(令和2年度版)

ご希望の講座をお選びください。学年・地域に合う防災学習プログラムのカスタマイズも可能です。

1	地震はなぜ起こるのか? 低学年対応可
	大きな地球儀、ダジックアースを使い、地震の分布やプレートの位置などを視覚的に教える。なぜ 地震が起こるか、なぜ日本に地震が多いのかを自分の言葉で説明できるようになることを目標とする。
2	自分の命は自分で守る 低学年対応可
	防災を学ぶ上で基本となる「自助」について学ぶ。なぜ、自分の命は自分で守らなければいけないのかを理解し、いざというときに自分の身を守る方法を実践できるようになることを目標とする。
3	家庭内でできる防災対策 低学年対応可
	家庭内でできる、具体的な準備や心構えについて学ぶ。家庭内の危険個所について考え、災害時に ケガをしない住まいづくりを実践できるようになることを目標とする。
4	防災紙芝居 低学年対応可
	防災紙芝居の上演、解説を行う。紙芝居を通じて、災害についてイメージできるようになり、災害時、 とるべき行動について考えられるようになることを目標とする。
5	防災ゲーム①「減災が学べるトランプ」 低学年対応可
	災害から自分の身を守ることをぴっぴオリジナルのトランプを用いて学ぶ。災害時のさまざまな困り ごとから、身を守る方法を考えられるようになることを目標とする。
6	防災ゲーム②「クロスロード」
	カードゲーム「クロスロード」を使い、ジレンマを伴う災害対応について学ぶ。他者との話し合いの中で様々な意見・価値観を聞きながら、災害対応を自らの問題として考えられるようになることを目標とする。
7	災害発生から1週間〜避難行動から避難所生活まで〜 低学年対応可
	災害発生時の避難やその方法、避難所での生活について、災害発生から1週間、どのように乗り 切るかを災害事例やワークショップを交え考える。防災を自分ごととして考えられるようになり、いざ というときに行動できるようになることを目標とする。
	災害後の復旧・復興と災害ボランティア〜自分にできることは?~
8	災害後の復旧・復興がどのように進んでいくか、災害ボランティアとは何かを災害事例や、災害ボランティアを経験した講師による話を交え学ぶ。復旧・復興には人の力が必要であることを理解した うえで、小学生・中学生ができることとはなにか、を考えられるようになることを目標とする。